

広報かねやま

KANEYAMA

April 4

2019

No. 676

● COVER

15名の青春が始まる——

新庄南高校金山校で合格発表



④平成29年の模擬選挙で
選ばれた高校生議員のう
ち、今年度の卒業生と記念
撮影。受賞は素直に嬉しい
と口を揃える。皆さん「選
挙があれば絶対に投票に
行く」と頼もしい。(左か
ら)丹雅紀さん、伊藤翔太
さん、柿崎真菜さん、西田
侑叶さん、栗田陸斗さん
⑤当時の模擬議会での様
子。町執行部に対して堂々
と提言した



新庄南高校金山校 「特別賞」を受賞 明るい選挙推進協会



積極的に主権者教育に取り組む新
庄南高校金山校（以下、金山校）が、
「明るい選挙推進特別賞」を受賞し
ました。主催する公益財団法人明る
い選挙推進協会は、優良活動表彰と
して政治意識の向上などに取り組む
団体を表彰。本来学校は対象外です
が、行政と連携した活動が優れてい
ることが評価され、特例として「特
別賞」が授与されました。

公職選挙法が改正され、選挙権年
齢が18歳以上に引き下げられたこ
とを受け、金山校では平成27年12
月に初めて模擬議会を実施。生徒ら
が、参政権を有する意義を考えるき
っかけとなるように、町の課題を調
べ、自分で考えた解決策を、町へ提
言しました。その中で出された「新

庄市内から通学する生徒対象のバス
代の半額補助」については、翌年度
から予算化され、今では町の事業と
して定着しています。大隅晃弘校長
は「生徒が考えたことに、町の皆さ
んが真剣に答えてくれた。町ぐるみ
の活動が評価されたのではないかと
話します。平成29年には模擬選
挙と模擬議会を結びつけ、実際の選
挙をより意識できるよう取り組みを
発展させました。

大隅校長は、金山校ならではの取
り組みについて「これからも継続し
たい」と意気込みます。若年層の投
票率の低さが課題とされる中で、金
山の若者たちには、政治参加に欠か
せない当事者意識が着実に育まれて
います。

4月には下記の選挙が予定されてい
ます。忘れずに投票しましょう！

【山形県議会議員選挙（最上郡選挙区）】

投開票日 4月7日(日)

●期日前投票

3月30日(土)～4月6日(土)
午前8時30分～午後8時
金山町役場1階ロビーにおいて

☎ 山形県選挙管理委員会

☎0233-29-1206

【金山町議会議員選挙】

投開票日 4月21日(日)

●期日前投票

4月17日(水)～4月20日(土)
午前8時30分～午後8時
金山町役場1階ロビーにおいて

☎ 金山町選挙管理委員会

☎0233-52-2111 (内221・222)

■ も く じ ■ Contents

- P3 ◆かねやまわんとび
金山校が明るい選挙推進特別賞
- P4 ◆まちの予算
平成31年度は未来に向けた改革の年
- P6 ◆第10回金山町フォトコンテスト
入選作品紙上ギャラリー
- P8 ◆町政NEWS
金山こども食堂の利益を町に寄附
祝！高橋マサエさんが100歳
町内の小中学校で卒業証書授与式
今年もボランティアの輪がひろがる
白銀スキー大会で地元勢の優勝も
スキーハイキング in 神室
- P10 ◆特別寄稿① 第41回金山町住宅建築コンクール講評
- P12 ◆特別寄稿② まちづくりアドバイザーの退任にあたって
- P14 ◆町立金山診療所からのお知らせ
- P16 ◆お知らせ掲示板
町有財産（土地）を売却します
- P18 ◆図書室だより・森の子ども図書コーナー
ぶんげい・道草便り vol.12 ほか

= 今月の表紙 =

名残り雪がちらついた3月17日、
県立高校一般入試合格発表が行わ
れ、新庄南高金山校では10時に結
果が掲示されました。受験した町内
外の15名全員がめでたく合格。掲
示板を前に写真を撮るなど、ほほえ
ましい光景が広がりました。

入学式は4月8日に行われる予
定。新庄市内の中学校出身の方は
「高校では勉強を頑張りたい。まず
は金山町の環境に慣れない」と意
気込んでいました。金山校生らしく
躍動してほしいと思います。



4月行事予定表

【町立金山診療所 診療予定】

㊤▶ 疼痛外来 ㊦▶ 小児専門医外来 ㊧▶ タ診

1 (月)	㊤
2 (火) 乳児健診	
まちなか雛めぐり	
3 (水) 町消防団辞令交付式 すこやか相談	㊧
4 (木) ベビーマッサージ	㊦
5 (金) 心配ごと相談	
6 (土) 認定こども園めぐり入園式	
7 (日) 県議会議員選挙投票日 町内小中学校入学式	
8 (月) 新庄南高校金山校入学式 狂犬病予防接種（9日まで）	㊤
9 (火)	
10 (水) すくすくプレイランド 体育協会・スポ少合同表彰式	㊧
11 (木)	㊦
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月) 心配ごと相談	㊤
16 (火) 1歳2歳児歯科健診 わらべうた・読み聞かせ	
17 (水) すこやか相談	㊧
18 (木)	㊦
19 (金) 献血	
20 (土)	
21 (日) 町議会議員選挙投票日	
22 (月) 心の健康相談	㊤
23 (火)	
24 (水) すくすくプレイランド	㊧
25 (木) 上期区長会議 心配ごと相談・リフレッシュヨガ教室	㊦
26 (金) 大堰 鯉の放流	
27 (土)	
28 (日) 春季消防演習前揃い	
29 (月) 春季消防演習	
30 (火) 診療所診察日（午前）	

① 診療所の安定した運営と 福祉・子育て・除排雪経費を優先

一般会計は、平成30年度当初予算に計上していた旧谷口分校再建整備事業や新中央公民館建設事業の基本設計が皆減となり、予算額が大きく減少しています。

町立金山診療所の運営については、厳しい状況が続いていますが、町の医療機関として安定した運営を行うため、他事業の見直しにより、補正予算を含めて対応してきたこれまでの支援を年間予算として確保。特別会計も、制度改正や施設管理が増減の主な理由ですが、消費税率引き上げに伴い、一部料金の改定も実施する予定です。



厳しい経営状態が続いている町立金山診療所ですが、町民の皆さんの日常を守るため、安全で安心できる医療を提供していきます。

③ 基金残高（貯金）の推移見込み

平成31年度並みに基金を使う水準で考えた場合、下記のとおり基金残高は減少しますが、災害対応や町づくりの財源となる財政運営基金については、町民の皆さんの意見をいただきながら、基金残高の増加につながる事業の見直しを行っていきます。

年度	財政運営基金	減債基金 特定目的基金	基金残高 合 計
29	4億8,900万円	6億4,200万円	11億3,100万円
30	6億5,700万円	3億2,100万円	9億7,800万円
31	4億 600万円	2億3,500万円	6億4,100万円
32	2億7,100万円	2億2,000万円	4億9,100万円
33	1億3,600万円	2億 500万円	3億4,100万円
34	9,900万円	1億8,900万円	2億8,800万円

■財政運営基金…財源不足を補う基金

■減債基金…借金返済の財源

※町では、国が推進する「財政状況の見える化」を積極的に行うため、町ホームページへ詳細資料を掲載しています。

② 将来につながる財政運営のため

昨年の豪雨災害への対応や、これまで実施した大型の普通建設事業による借金の返済（公債費）が増えることから、**将来の負担を減らすために、公民館建設、定住促進住宅及び街なか公営住宅の整備は、財政環境が整うまで先送りすることに計画を変更します。**

今後10年程度は特に慎重な財政運営が必要なため、基金（貯金）残高についても、将来の町づくりの資金確保と、災害などへの突発的な対応への備えから、現在の残高水準を維持する必要があります。



平成30年8月に町を襲った豪雨は各地に傷痕を残しました。いつ起こるか分からない大災害に財政的にも備える必要があります。

④ 未来を保障する行政サービス

町民の皆さんが思い描く将来のビジョンには夢と希望が不可欠です。そのため、全国的に見ても、極めて充実した子育て支援を継続し、新たに生活の中での心配ごとである「雪対策」「高齢者の住まい」「移手段」「買い物支援」について、正面から向き合い、快適な暮らしづくりを行っていきます。

今、そしてこれから町に住んでくださる皆さんが、住んで良かったと思える次世代の町づくりに向け、今後の行政を担う補佐・係長職による「かねやま未来会議庁内検討委員会」を立ち上げます。町民の皆さんのご意見にしっかりと耳を傾けた町づくりを行っていきます。



子育て支援策が極めて充実している当町。町の宝である子ども達が夢を持って金山で生活できるように継続して支援していきます。

まちの予算

平成31年度一般会計

38.01 億円
(前年度比12.9%減)

平成31年度は

未来に向けた改革の年

金山版CCRC構想による高齢者福祉対策を筆頭に「人材育成・健康づくり・産業振興・定住交流」を強化します。「住み続けたい町づくり」のため、後年度を見据えた行財政改革を進め、町民の皆さんが豊かな心で暮らせる町を目指します。

※CCRC構想等の主要施策は来月号で詳しく紹介します

会計名	予算額	前年度比増減額	前年度比増減率
一般会計	38 億 100 万円	▲ 5 億 6,100 万円	▲ 12.9%
国民健康保険特別会計（事業勘定）	519 万円	▲ 513 万円	▲ 49.7%
国民健康保険特別会計（直診勘定）	3 億 7,661 万円	▲ 3,330 万円	▲ 8.1%
後期高齢者医療特別会計	6,187 万円	▲ 423 万円	▲ 6.4%
介護保険特別会計	7 億 9,842 万円	▲ 2,277 万円	▲ 2.8%
農業集落排水事業特別会計	1 億 532 万円	+ 3,968 万円	+ 60.5%
公共下水道事業特別会計	1 億 5,833 万円	▲ 55 万円	▲ 0.3%
水道事業会計（資本的支出）	7,801 万円	▲ 311 万円	▲ 3.8%
水道事業会計（収益的支出）	1 億 9,791 万円	▲ 125 万円	▲ 0.6%

●主なハード事業

▼上台下野明線道路整備事業（国の補正）2,500万円（緑越事業）▼道路維持・改良整備事業5,006万円▼中田地区流雪溝導水路整備1,882万円▼橋梁点検・補修工事業（柳原橋・蛸畑橋補修等）7,831万円▼ロータリ除雪機整備事業4,816万円▼スクールバス更新事業961万円▼林業成長産業化創出モデル事業5,725万円▼明安地区集落排水処理施設管路施設補修設計・工事（農業集落排水事業特別会計）5,065万円▼小中学校エアコン設置事業1億5,108万円（緑越事業）▼【平成30年度豪雨災害】農地農業施設災害復旧事業5,051万円（緑越事業）▼【平成30年度豪雨災害】町道松ノ木枡沢線道路災害復旧事業3,375万円（緑越事業）

●主なソフト事業

▼【平成30年度豪雨災害】小規模農地災害緊急復旧対策1,016万円▼町立金山診療所運営支援（一般会計からの運営費等支援）2億143万円▼街並み景観形成助成事業440万円▼景観施策アクションプログラム作成委託事業400万円▼かねやま大楽校開催事業81万円▼育児支援事業（出産祝金・多子通園助成金・家庭育児支援など）2,311万円▼子育て支援医療費（高校生までの医療費無料化）2,286万円▼プレミアム付商品券発行事業（国庫補助事業1回分を含む）1,214万円▼グリーンバレー神室一体の観光拠点運営事業1億86万円

入選作品
紙上
ギャラリー

第10回 四季奏でるまち 金山町フォトコンテスト

AWARD
2018

毎年、金山町の四季折々を写し取ったたくさんの美しい作品のご応募ありがとうございます。
金山町フォトコンテストは、第10回を迎えることができました。
これからも、どうぞ金山町に足をお運びいただき、
町の魅力を思い思いの感性で写真におさめ、魅力たっぷりの作品をお寄せください。

最優秀賞



■山車 帰る 海野 裕 さん(寒河江市)
●四季…夏 ●撮影地…大堰
町内の巡行を終えた山車が地元へ帰る様子。
祭りの終わりを迎えたある種の「寂しさ」「達成感」と
水面に映る光景を印象的に対比しました。

優秀賞



■チビッコ相撲大会 奥山 喜久雄 さん(新庄市)
●四季…夏 ●撮影地…羽陽



■選別作業 佐々木 茂 さん(秋田県大仙市)
●四季…夏 ●撮影地…稲沢
特産品のニラ、早朝より複数の人達が作業していました。



■ひと休み 中川 晋 さん(秋田県雄勝郡羽後町)
●四季…春 ●撮影地…大堰
鯉の放流を終え、並んで座って休んでいる園児と鯉を俯
瞰して写しました。



■白壁の街 樋渡 博 さん(新庄市)
●四季…春 ●撮影地…楯山
夕日に映える月山と白壁の街並がとてもきれいでした。

こども大賞



■わんわんの足跡 柴田 楓歌 さん(金山町)
●四季…冬 ●撮影地…十日町
娘と散歩していたら「わんわんの足跡ー!」と叫ぶので写真を撮ってもらいました。
でも猫かもしれません(笑)

入選



■稲杭のある風景
片見 信廣 さん(新庄市)
●四季…秋 ●撮影地…魚清水



■大堰の錦秋
秋葉 幸順 さん(村山市)
●四季…秋 ●撮影地…大堰



■金山のおとつあん
鈴木 貞治 さん(天童市)
●四季…春 ●撮影地…十日町

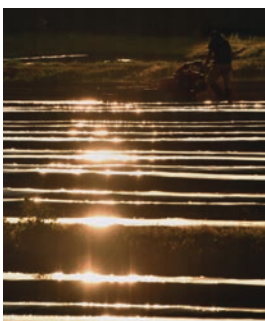


■夕暮を駆ける
佐々木 茂 さん(秋田県大仙市)
●四季…冬 ●撮影地…神室スキー場

佳作



■新年に舞う
樋渡 博 さん(新庄市)
●四季…冬 ●撮影地…稲沢



■夕暮れ
芳賀 和代 さん(寒河江市)
●四季…春 ●撮影地…上台



■残り柿
小沼 均 さん(金山町)
●四季…冬 ●撮影地…柳原



■丸太と桜花
奥山 喜久雄 さん(新庄市)
●四季…春 ●撮影地…下野明



■金山春景
鈴木 貞治 さん(天童市)
●四季…春 ●撮影地…下野明



■クライマックス
芳賀 数代 さん(寒河江市)
●四季…冬 ●撮影地…神室スキー場



■「すずめ」が舞った!
丹 幸一 さん(金山町)
●四季…夏 ●撮影地…七日町



■裸御輿
片見 信廣 さん(新庄市)
●四季…冬 ●撮影地…七日町

入賞作品、全応募作品は
フォトコンテストサイトで
ぜひご覧ください。

入賞作品は、「蔵史館」にて常設展
示を行います。金山町においての
際にはぜひ足をお運びください。

※一部期間は他の展示イベント等により
ご覧いただけない場合もあります。



<http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/photo-contest/>



④新庄南高校と金山校の生徒たちが町内10世帯で除雪 ⑤みすぎ荘の職員は吹雪の中、高齢者宅を除雪

2月5・8・20日、みすぎ荘の職員の皆さんが、一人暮らし高齢者世帯の除雪作業を行いました。毎年、町内の数世帯を対象に実施しているボランティア活動。8日には、吹雪の中4名体制で三上房子さん(宮)宅前に積もった1m以上の雪を崩しながら除雪しました。三上さんは、綺麗になった庭先を見て「こんなに広くしてもらって本当にありがたい」と感謝していました。

また、2月16日には新庄南高金山校の生徒及び新庄南高校へ金山町から通学している生徒による除雪ボランティアが実施されました。対象は町内の一人暮らし高齢者宅など10世帯で、生徒らは個別に要望を聞きながら作業。各世帯から感謝の言葉をいただき嬉しそうな表情でした。今年も町内各地で除雪ボランティアによる奉仕の輪が広がりました。

寒

いけれど心はあったか
今年もボランティアの輪がひろがる

伝

統の白銀少年スキー選手権大会
地元金山勢の優勝も大会に華添える

白銀会と町教育委員会が主催する第62回白銀少年スキー選手権大会が2月24日、神室スキー場で開催されました。県内外から約180名の選手が出場。町内勢では、女子リレーにおいて明安スキースポ少が見事優勝を果たしました。また、男子リレーでは有屋

スキースポ少が3位に入賞。個人種目においても、2部女子で高橋灯里さん(金山スポ少)が優勝を手にしたほか、多くの町内選手が活躍しました。子どもたちの熱戦により、歴史のある本大会に今年も新たな1ページが刻まれました。



今年からアルペン競技は2人スタートで勝敗を決するトーナメント方式に

町

から賀詞・お祝い金を贈呈
祝！高橋マサエさんが100歳

高橋マサエさん(山崎)が、3月15日に100歳の誕生日を迎えられ、鈴木町長からご本人へ賀詞やお祝い金が贈呈されました。マサエさんは大正8年生まれ。この日は、曾孫さんを含むご家族が駆け付けて祝福しました。サプライズで洋服が

プレゼントされると大きな笑顔で喜ばれていました。その他にも、大きな節目を祝して、9月には内閣総理大臣から賀詞が贈られています。これからも健康に留意され、長生きしてください。100歳のご長寿、おめでとうございます。



お雛様の前でご家族と記念撮影するマサエさんは元気に「ピースサイン」

金

山こども食堂の利益を町に寄附
来てくれた町の皆さんに恩返しを

昨年11月に金山小学校の5・6年生が1日限定で営業した金山こども食堂で得た利益を「福祉のために活用してほしい」と町に21,566円の寄附をいただきました。2月18日、代表して星川璃央さん(6年)と柿崎心さん(5年)が役場

を訪れ、鈴木町長へ寄附金を手渡ししました。2人は「お金を稼ぐことは大変だと実感した。作った鍋やラーメンが完売したのは、たくさん来てくれた皆さんのおかげ。町に寄附することで恩返しになると良い」と話していました。

町

内の小中学校で卒業証書授与式
学び舎を後に「ワカツバメ巣立つ——」

第72回を数える金山中学校卒業証書授与式が、3月16日に執り行われ、53名が学び舎を巣立ち、新たな一歩を踏み出しました。卒業生代表の今井美結さん(安沢)は「この3年間は、仲間がいたから乗り越えることができました。関わってくれた皆さんに感謝したい」と涙ながらに述べ、別れを惜しんでいました。

また3月18日には、町内3小学校で卒業証書授与式を挙行。卒業生の堂々たる姿に、先生やご家族は目に涙を浮かべ6年間の成長を喜んでいました。4月からは金山中生として、活躍を期待します。



(右から) それぞれA組・B組の仲間でパシャリ ④卒業式後の門出式では新旧応援団によるエール交換が行われた

ス

キーハイキング in 神室
会話を楽しみながら心地よい汗を

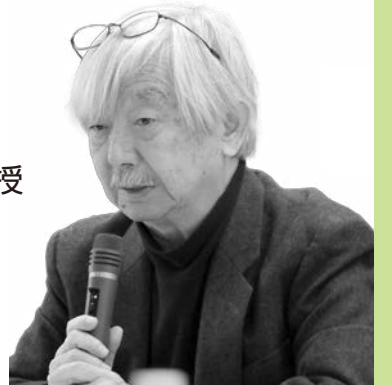
金山健康ふれあいスポーツクラブが主催するスキーハイキング in 神室が3月17日、神室スキー場で開催されました。栃木県や宮城県など県内外から41人がエントリー。8歳から69歳まで幅広い世代が1〜2kmのクロスカントリー特設コースで会

話を楽しみながら歩いたり滑ったりと、心地よい汗を流してゴールしました。ゴール後は、ホテル宿泊券など豪華賞品が当たる抽選会が大盛況。レストランフォレストの特製豚汁が振る舞われるなど、参加者にとって充実したイベントとなりました。

住宅生産環境が大きく変化 未来を見据えた金山住宅を

DIK設計室代表
東京藝術大学名誉教授

片山 和俊 氏



平成24年度から金山町住宅建築コンクール審査委員長。また、長年にわたり金山町街並み景観審議会専門委員として、金山の景観づくりに尽力されている。



平成30年12月14日に開かれた第41回金山町住宅建築コンクール審査会。アドバイザーを含めた10名の審査員により審査が行われた。

毎年同じようなことを書いています。が、今年も書かざるを得ない。金山町街並み景観づくり100年運動は、この「住宅建築コンクール」と「風景と調和する街並み景観条例」を車の両輪として組み立てられている。ここまで続けて来られたのも、全国から高い評価を得てきているのも、この両輪が回ってきたお蔭である。

けれども町のこの取り組みは順調に來たわけではない。世の中の趨勢は難しい方向へ進み、その向かい風を受けながらここまで来ている。向かい風の1つが日本全国で起きている人口減少。東京のような大都市圏で超高層マンションが建ち続けているのは不思議だが、各地で空き家が増えている。金山町での新築着工軒数が減るのが当たり前の状況下にある。

加えて住宅の作り方にも向かい風が吹いてきている。思い出すのは構造基準の見直しで、雪国で便利にしていた高基礎が出来なくなり、階として、しかも木造とRC造の混構造としての解析が必要になったことだ。構造的に正しいことに違いないが、随分窮屈になりRC造の上に木造を載せる建て方が減ってしまった。それが2つ目。

そして3つ目の向かい風が、省エネ

的な側面から住宅の性能向上が叫ばれ、断熱強化等の必要から外壁の外断熱構法が進んだこと。金山住宅の真壁造（内断熱）による外壁は、外装（外断熱）へと変わった。真壁造の外壁を構成していた構造的な柱梁が隠れ、書割りの柱梁になっている。外壁から金山杉を使う必然性がなくなってしまう。開口部も小さくなって制作建具が姿を消し、既製品のアルミサッシと複層ガラスの使用が当たり前になっている。さらに国は2020年までにネット・ゼロ・エネルギーハウス（※ZEH）の普及を目指している。

このような風を受けて住宅の外観が、屋根以外の部分で金山住宅とは異なる作り方に変化したことに加えて、最近目立つのは住宅内部の変わり方だ。作る材料や設備の既製品化、部品化が進み、旧来の手作りの仕事の内装ではなく、メーカーのカタログからのアッセンブリーで作られている。ユニットバスやシステムキッチンなどは勿論、床材も階段もドアもなにもかも既製品である。しかも夫々が木の家に合う表情を備えている。

つまり極端に言えば、金山の地場産材がなくても木らしい家ができる。踏み込んで言えば、どこの工務店に頼んでも既製品に頼れば同じことになる。

そして頼れば頼るほど工事費のかなりの部分がメーカーや代理店に流れてしまう。金山町内で留保した折角の資金が町内を回らずに、町外へ出て行ってしまうのだ。目指す金山住宅の前に、既製品や部品の風が吹いている。

長い間、外部のメーカー住宅の進出に危機感を抱き、景観条例が歯止めになることを期待してきたが、今や住宅建設は内外部からジワジワと進んで、総体として外部資本に席巻されていると言っているだろう。従ってこうした住宅生産環境の中で、住宅建築コンクールもある程度の変質を容認せざるを得ない。が、その一方でこの一線は譲

れないという見識と方法を持たないと、金山杉による金山大工が生み出してきた本来の金山住宅の特徴が消え失せてしまう危機が迫っているように思われる。それが最近の住宅建築コンクールの審査を通じて感じる状況である。

今回の応募は2軒で、共に若い家族によるものである。生き生きと暮していく空間として、審査員の多くから好評をもって迎えられた。

阿部家はコンパクトにまとめられた平面で、玄関から居間台所と回れる便利で合理的な構成をもち、外観も切妻屋根ですっきりまとめられていた。が、内外に金山住宅らしさ、特に内

部にももう少し効果的に金山杉材を用いて欲しかったという審査委員の評から、商工会支部長奨励賞を贈ることになった。

庄司邸は1階に寝室群をまとめることによって、2階に居間・オープンキッチン、小さな座敷、浴室によるオープンな空間が生み出されていた。若い家族の暮らしが展開される様子と金山杉が用いられていることから、特別賞を贈ろうという評価になった。

更に住宅ではないが、参考として見て廻った内町の英伸製作所作業棟が審査会で話題になった。大堰公園に面する立地条件から、L字型に回した下屋と金山杉材を張った外観への賛



▲商工会支部長奨励賞を受賞した阿部家（下野明）。人の動線が考えられている間取りが評価。特に子どものことを考えた構造に好感が持てると評された



▲庄司家（七日町）は特別賞を受賞。2階にリビングなどの居住スペースがあることが特徴。金山杉を使用した天井や開放的な空間が好評を得た



▲審査委員が両物件におもむき、視察。外装から内部の詳細まで金山住宅らしさが見られた

※ZEHとは… 「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」

「快適な室内環境」と「年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下」を同時に実現する住宅。経済産業省では、「2020年までにハウスメーカー等の建築する注文戸建住宅の過半数でZEHを実現すること」を目標とし、普及に向けた取組みを行っている。

金山町だからできる 地域住民の自律を

5年間に亘り、金山町まちづくりアドバイザーとして学生とともに町で活動してきた蜂屋氏から、「これから地域経営に必要なもの」などに言及した、多くの示唆に富む寄稿をいただきました。



「大学環ネットかねやま」事業では多く学生が金山町を訪れた。地域全体を学習の場とし、町民の営みの暖かさや強さにふれながら学びを深めた。

金山町まちづくりアドバイザー
金沢大学地域連携推進センター准教授



蜂屋 大八 氏

首都圏の大学生を金山町に招いて学術的に金山町を評価してもらおうという総務省の域学連携事業の採択に際して、平成25年度から5年間にわたって金山町まちづくりアドバイザーの肩書きをいただいていた活動してきました。総務省事業の後、単年度の域学連携事業の発展形として、「大学環ネットかねやま」を設立いただき、継続して金山町の学術的評価を図ってきましたが、この事業も解散となり、平成30年度末にて退任させていただくこととなりました。これまで、横浜国立大学、東京工業大学、筑波大学、宇都宮大学、聖心女子大学など多くの首都圏の大学生の調査先や民泊受け入れ先として、ほぼ町内全域のみなさまにお世話になりましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、私は山形市生まれですが、山形大学に勤務していた平成16年に職員研修の一環で、当時、最上市町村圏事務組合・最上教育研究センターの所長を務められていた樋口勝也前教育長に出会うまでは、金山町とのご縁はほとんどありませんでした。この出会いが契機となり、最上8市町村を巻き込んだ「山形大学エリアキャンパスもがみ」が設立され、年間を通じて約300人もの山形大学の学生が「もがみ」で学んでいます。この事業は、私が山形大学を退職した後も継続し、すでに14年になろうとしています。この間、金山町の取り組みの中からは、金山を愛する学生達の活動団体「チーμ道草」が生まれ、さらにその活動の中から山形大学職員になった学生が生まれたことを思うと、わずかながらも金山町に貢献できたことを実感できます。この事例に限らず、学生達は「もがみ」で学んだ後、一様に目の輝きを増して大学に戻ってきました。地域を知らない学生達にとって、地域社会の基礎にある人々の営みの暖かさや強さを、「もがみ」の活動が教えてくれたからです。このような地域の人びとによる教育をさらに実践してみたいと、20年間事務職員として勤務した山形大学を退職し、大学教員の職に転じました。現在の職を後押ししてくれたのは、金山町とのご縁だったということです。

大学教員となり、「博士」学位取得のための研究テーマとなったのも金山町でした。この年、これも実に不思議な縁で妻を金山町からもらうことになりました。妻を観察していると、同じ山形県人なのに私には不思議に思えるほど、親戚関係、近所づきあい、友人関係などなど、幾層もの関係性が結び

合ひ、人間関係を煩わしく思わず、むしろその関係性にお世話になって生きてきたことがわかります。このような人々の関係性は、絆、信頼、お互いさまの気持ちからなる「社会関係資本」と言われ、日本全国の中山間地域で見られます。東日本大震災からの復興の過程でにわか注目を集めました、東北には元々このような関係性が存在していたのが次第に薄れ、金山町には特に色濃く残っているのではないかと考えられます。私の娘は、まだ妻が金山町に暮らしていた頃に新庄の県立病院で生まれましたが、特段お知らせをしていないのに、翌日には田茂沢地区の方が、我が家に娘が生まれたことを知っていました。何という情報網でしょう。この関係性は、個人情報保護が重視される都市部では問題となるかもしれませんが、私にはとても暖かいものだと感じられるのです。近年では、山形市の実家に帰るより、金山町に帰る方が心地よいと感じるようになりました。それは私たちを待っていてくれる人々がいる町からです。

妻はいつもただ笑っていることしか取り柄のない人間ですが、彼女を見てみると、金山町の皆さんにかわいがっていただいて大人になったということをつくづく感じ、人を育てる金山町の町

民性を実感できます。妻という人間を育んでくれた金山町のみなさんに、本当に感謝しています。これらは、金山町のみなさんにはごく当たり前のことすぎて何も感じられないかもしれませんが、この町民性は何ものなのか、どこに由来しているのか、とても気になった私は、これを課題とした研究を行い、博士論文にまとめました。私は、金山町から妻をもらっただけではなく、博士の学位までいただくことになりました。

金山町は町制施行以来、一度も合併を経験せず、現在の町の形は藩政期の村を基本として成り立っています。現在、31地区ある各地区の多くは藩政期の「郷」や「枝郷」に由来しています。長年町の形態を変えずに来たことが、金山町の町民性の第一だと思っています。金山町まちづくり条例は、この地区を自治の根幹と位置づけ、町はそれを支援するとしています。条例が町の基礎部である地区の自律を促している訳ですが、それを担保しているのが、各地区の公民館とそこでの活動ではないかと考えています。金山町では、生涯学習の場としての中央公民館と、地域づくり拠点としての各地区公民館の機能が明確になっています。私が、金山町の全地区公民館にヒアリングを行

った結果、ほぼ町内の全域にわたって契約講、お日待ち講、念仏講、若連、消防団、婦人会、若妻会などの活動が行われていることが分かりました。そして、その活動の中で、知らず知らずのうちに、年配者から若年者へ、この地に暮らす意義や価値観の伝達が行われ、いつしか受け手側もそれを受容し、私益よりも公益的な視点を有するようになることができました。このような公益的な視点を持つ町民が町内の全域で育成されていることで、金山町の特徴的なまちづくりが可能になったのではないのでしょうか。松田貢前町長は、「大きな家族、一つの自治国という意識で、今日までオンリーワンの町づくりを進めてきました」と記されています。家族がばらばらの方向を向いていては家庭が崩壊します。各地区の公民館活動によって育まれた金山町民の意識の蓄積がこの「大きな家族」なのではないでしょうか。

現在、金山町に限らず、我が国の地方部は少子高齢化や産業の衰退に伴う危機にあり、今後数十年で896の自治体が消えてなくなるのショックینگな予測があります。しかし、私は、人口が減っても地域は消滅しないと思っています。特に金山町のような求心力を持った地域の自律は可能だと思います。

っています。AIが人間の業務に取って代わるなど、行政の形は大きな変革を余儀なくされる将来、地域経営に求められるものは、地域住民の自律だと考えます。既に住民が地域運営の協議会を設立し、撤退したJ Aのガソリンスタンドの経営を引き継いだり、山間部のコンビニを経営したりする地域も出てきました。私は現在富山県のある地域で、同じような地域経営体を構築する支援を行っています。これらは、その地域に暮らし続けていくための「攻め」であるといえます。自治体行政が縮小していったとしても、こうして住民が自律して自分たちの暮らしを守ることであれば、その地域が消滅することはありません。金山町の町民性は、このような取り組みに充分に耐えうるものと思っています。いま、嵐の前の静けさの中で、あえて将来を見越して「攻め」に出ていくことが肝要です。

「右肩上がり」の発展が見込める時代ではないことを認識して、右肩下がりのカーブを緩めるために、攻めの一手を打つ。金山町にはそれが可能だと思います。私はこれからも、金山町のことを考え続けます。それが私にできる金山町へ唯一の恩返しだと思うからです。

町立金山診療所からのお知らせ

【お問い合わせ】
町立金山診療所 ☎52-2915



平成31年3月末をもって派遣終了

副所長 瀬尾 恭一 氏

「サクラマス」の法則

サクラマスをご存じでしょうか。美しい銀色のボディ、体長40cmを超える大型の魚であり、釣り人にとっては憧れの魚で、ちょうどこの時期（早春）、海から河川を遡上します。実はこの魚、元は『ヤマメ』です。日本の溪流に棲息するポピュラーな小型魚、誰もが知っているあのヤマメです。あの小さなヤマメが河川を下り、大海原で修羅場をくぐり抜け、身も心も大きくなって再び河川に戻ってきた姿——。それこそがサクラマスの正体です。溪流を泳ぐヤマメは、成長の過程でふと考え始めます。「私たちこれからどうしようか」と。大半のヤマメは「この場所でこのまま暮らしていこう」と思って河川を出ません。しかし、一部のヤマメは思います。「このままでは駄目だ、私たちには何か足りない」と。そして命がけで河川を下り、大海原に出ます。大海原ではまさに食うか食われるかの生活。魚として一回りも二回りも大きくなります。そしてついに決断します。「私を育てたあの場所に戻ろう」と。そして再び河川を上ります。これが私の考える「サクラマスの法則」です。

僻地では「医者」の定着」を課題としている地域があります。一人でも多くの医者が地域に根付いて欲しいと願うのは当然でしょう。しかし、若手を悩ませる言葉があります。「先生にはずっとこの地域にいて残って欲しい」という患者さんからの言葉。自分が頼りにされている事を幸せに思う反面、プレッシャーを感じる若手は少なくありません。特に、僻地に「残る」という表現に、なん

だか「生け贄」みたいな印象を持つのは私だけでは無いはずです。だからこそ、あえてここで「サクラマスの法則」を思い起こしていただきたいです。ずっととどまって欲しい気持ちをぐっと飲み込み、僻地から巣立ってゆく若手を応援していただけないでしょうか。そうすれば、きっといつかサクラマスのように、一回りも二回りも大きくなって帰ってきます。実際、自治医大卒業生の多くは僻地を離れた後でもまたいつか力になりたいと思っています。

そう簡単にはいかない、実際に戻ってきたためしがない、などと言われるとちょっと困ってしましますが、サクラマスの話にはもう一つの余談があります。実は、海に下るサクラマスはメスだけなのです。オスは溪流ですっとメスの帰りを待っています。海から帰ってきたメスと、ずっと溪流を守ってきたオスとが次の世代を生み育てるのです。

僻地にとどまってずっと地域を見守り続ける医者はもちろん必要であろうと思います。しかし一方で、他の地域から沢山の経験を持ち帰ってくる医者もまた必要です。そうすることで、僻地には「見守る医療」と「新しい医療」との調和が生まれます。これからの課題は、僻地を「育ての場所」と思える「サクラマス医」を育て、循環させることにあると思います。かく言う私自身、もしも将来「育ての場所」に戻ることがあるとすれば、私はサクラマスのように身も心も大きくなって凱旋したい。そんな気概が今の私を突き動かしています。——この作品は自治医科大学公衆衛生学部門阿江竜介先生の作品で、ご本人から許可をいただき一部改変して使用させていただきました。今の私の心境に100%一致しているため掲載いたします。2年間本当にありがとうございました。

「医師による出前講座」

集会等に医師を派遣し、地域医療に関してなどの講演を行う「医師出前講座」を行っています。町立金山診療所の医師から直接お話を聞いてみたいという団体等は、気軽にお問い合わせください。

- ▼対象 各種団体・グループなどが主催する集会など（少人数でも構いません）
- ▼内容 ご要望に応じて対応
- ▼費用 原則必要なし
- ▼申込 町立金山診療所総務係までご連絡ください

3月末をもって2名の医師が退任され、4月1日付けで新たに1名の医師が着任されました。これからも皆様に信頼される診療所であるために、安心・安全な医療の提供に努めていきます。



平成31年3月末をもって定年退職

所長 山科 明夫 氏

「所長退任にあたって」

平成31年3月末に定年退職を迎え、19年間、多方面の実に多くの方々にお世話になり、金山町を去ることになりました。この年月に起こった医療を取り巻く事態を思い起こしてみます。

1. 介護保険の導入
現在、地域包括ケアとして医療と介護の一体的な展開による高齢者へのサービスが展開されています。私が赴任した平成12年には、医療保険に並立する介護保険の運用が開始されました。
2. 認知症患者を守る地域づくり
介護保険の導入により、主治医は対象者の記憶力、作業能力を判断する必要に迫られました。「認知症」という用語が発案され、現在定着しています。介護サービスのみならず地域社会の潜在力を掘りおこす地域力が求められ続けています。
3. 医学の進歩が消化器領域の医療に大きく影響を及ぼした2つの話題
① ヘリコバクタピロリ除菌治療の保険適応。平成12年、胃十二指腸潰瘍の治療に除菌治療が保険で認められました。私が消化器医学の臨床の手ほどきを受け、地域医療に踏み出した1980年頃は、胃酸と胃粘膜防御のバランスが崩れるため胃潰瘍が発生すると考えられ、胃酸分泌抑制剤による治療が主体でした。1980年代後半になると、潰瘍病変の発生に細菌感染が関与していると語られ、1990年代に除菌治療が始まります。平成12年、消化性

潰瘍による出血にて来院する患者さんが、ピロリ除菌によりピタリと再発なくなりました。平成25年にはピロリ感染慢性胃炎にも除菌適応が広がり、町内の多くの方々が除菌治療を受けられる時代になりました。

② C型慢性肝炎の治療の変化。平成4年にインターフェロン治療に医療保険が適応され、肝炎の進行抑止、肝がん発生の減少を目指して多くの方が治療を受けました。薬効の改善されたインターフェロンに加えて、抗ウイルス効果を増強する薬剤を組み合わせる治療法が開発されました。強い副作用を警戒すべく治療施設の認定制度が一時的に設けられます。最近になり、副作用が少なく内服でウイルスを殲滅する薬剤が海外にて開発されました。高額な医薬品の使用に、国から補助金が交付され治療を受けられます。

4. ITの普及が医療連携に寄与した2事項
① 当院にデジタル医用画像システムが導入されました。新システムの導入により、医用画像データを電送し、緊急性の高い症例については、迅速に読影する事も可能になりました。
② 県立新庄病院に電子カルテが導入されました。その医療情報を指定医療機関に開示するシステム「最上ネット」が発足しました。現在では、県病での検査、治療状況がほぼリアルタイムで診療所において確認できます。
5. 病院から有床診療所への転換
経営問題に端を発し、改革会議、地区での町民説明会等、多くの議論を経て有床診療所に転換しました。経営問題は今なお続いています。
後任の所長を中心とする診療所全職員の健闘に期待し、町民の皆様のご健勝を祈ると共に、今後とも診療所に御支援いただきますようお願い申し上げます、退任の挨拶と致します。

新たに須田医師が着任！

最上地域で勤務するのは新庄に続き2年目になります。専門は「麻酔科」と一般的には馴染みの薄い診療科ですが、専門分野にこだわらず総合診療を一番に貢献していきたいと考えています。困っていることや気になることなど、小さなことでも気軽に相談していただければと思います。よろしく願いたします。



須田 拓郎 医師
(担当：外科)

町有財産(土地)を売却します

町有財産を見積競争により売払いします

◀売払土地の旧消防署金山支署跡地 (No.3)

【問い合わせ】役場総合政策課 ☎52-2111 (内線233)

- 見積競争に参加する方に必要な資格
金山町に在住の方、又は町内に事務所を有し法人登録している会社
- 売払土地及び最低売却価格
下記のとおり（位置図及び地籍図は、役場総合政策課で確認できます）
- 見積書用紙の交付期間
4月1日（月）～4月9日（火）
※見積書用紙は、役場総合政策課でお渡しします
- 見積書提出期限
4月10日（水）午後5時まで（必着）

- 売買契約の締結
譲受人は、印紙税を負担していただきます。また、売買契約締結後、すみやかに売買代金を納入していただきます。
- 所有権移転、引渡しの時期等
所有権移転登記は金山町が手続きし、登記完了後引渡しします。なお、譲受人が登記事務に必要な書類の提出と登記諸費用（登録免許税等）を別途負担していただきます。また、分筆登記が必要な場合は譲受人から経費負担をお願いします。

No.	所 在	地目	地積（㎡）	最低売却価格（円）
1	金山字大柳267番2 ※分筆が必要 (固定資産税評価額 660,800円)	宅地	80.00	944,000
2	中田字上中田201番9 (固定資産税評価額 256,610円)	宅地	157.43	367,000
3	金山字町浦437番18 (固定資産税評価額 3,363,330円)	宅地	421.47	4,805,000
4	金山字入田表805番1・805番2 (固定資産税評価額 105,198円)	田	1,367	151,000
5	金山字荒屋478番 (固定資産税評価額 2,289円)	雑種地	144	4,000
6	有屋字水尻949番1・949番2 (固定資産税評価額 1,729,111円)	宅地	963.77	2,493,000
7	金山字金山町381番1・381番2・381番2 (固定資産税評価額 1,883,126円)	宅地・畑	459.38 うち畑125㎡	2,691,000
8	有屋字地境547番12 (固定資産税評価額 537,997円)	宅地	330.06	769,000

※最低売却価格は、固定資産税評価額を0.7で割り返し算定しています

お知らせ掲示板

山形曹洞宗青年会より寄附

山形曹洞宗青年会最上支部寒修行会参加者一同（田中裕道代表）より、寒修行で托鉢された浄財の寄附の申し出がありました。これを受けて寄附者の意志に基づき、町社会福祉協議会に15,975円のご寄附をいただきました。

新入学児童（園児）の交通事故防止強化旬間

▼期間 4月6日（土）～15日（月）
春は、歩行者や自転車利用者の行動が活発になることから交通事故が多く発生する時期です。特に新入学児童（園児）は通学に不慣れなため、通学する時間帯は地域全体で見守りましょう。夜間に外出する際は明るい服装と夜光反射材「命のバンド」を着用し、交通事故に遭わない、起こさないように心がけましょう。また、「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

協会けんぽの保険料率の変更

平成31年3月（4月納付分）から次の通り保険料率が改定されます。

▼健康保険料率
10・04%→10・03%
▼介護保険料率
1・57%→1・73%

☎ 全国健康保険協会 山形支部
☎ 023-629-7226

中国語講座の受講者募集

▼日時 毎週月曜日
【初級】18時～【中級】19時～
※開講式は4月15日18時から
▼場所 山形新聞最北総支社会議室
▼講師 蛇塚秀玲氏
▼費用 受講料月額2,000円
☎ 最上地区国際交流協会事務局
☎ 22-3580

神室ダムサイレン吹鳴

神室ダムの管理演習を行います。金山川沿いの各警報局においてサイレンを数回鳴らしますので、火災など間違われませんようご理解ください。
▼日時 5月10日（金）9時～17時
☎ 最上総合支庁 河川砂防課
☎ 29-1410

やまがた110ネットワーク

山形県警察からメールで地域の安全安心情報を受信することができます。

▼配信情報 不審者情報・交通安全情報・交通障害情報（24時間配信）・防災情報など
☎ 新庄警察署 ☎ 22-0110

登録は無料！
こちらのQRコードを読み取ってご登録ください。

4月16日☎～22日㊟は 春季火災予防運動

☎ 火事と救急・救助は ▶ ☎119 消防に関する相談事は ▶ ☎52-2913 / ☎22-7521
消防情報サービス（災害の問い合わせ等）▶ ☎0180-99-2345

4月16日～22日は朝夕7時に各地区のサイレンが鳴ります！

▼住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

《3つの習慣》

- ①寝たばこは絶対やめる
- ②ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

《4つの対策》

- ①住宅用火災警報器を設置する
- ②寝具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

4月29日㊟は春季消防演習！

金山町身体障害者福祉協会と一緒に活動しませんか？

身体障害者福祉協会は、積極的な社会参加を推進することを目的とする仲間によって組織されている全国ネットの民間福祉団体です。会員相互の連携のもと、一般社会への障がいに対する理解と保護の理念を啓発普及しています。



2月7日には「スポーツ交流会並びに新年会」を開催。輪投げやカラオケなどを通して楽しく交流しました。

【お問合せ先】

金山町身体障害者福祉協会 事務局 ☎52-2099
(農村環境改善センター内 金山町社会福祉協議会)

金山町身体障害者福祉協会では会員を募集しています。ぜひ一緒に活動しましょう！

▼活動

①各イベント

スポーツ練習・スポーツ大会への参加・作品づくり・会員研修会・親睦会など

②身障手帳の活用・町サービスに関する問合せ等の取り次ぎ

▼会費 年間1,000円 ※賛助会員も合わせて募集

「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぽすと内

No.160



『パパはわるもの チャンピオン』
(板橋雅弘／作 吉田尚令／絵 岩崎書店)

「今日はパパの仕事を見せたいんだ」
パパの仕事は悪者。正義の味方と戦っている。ぼくは見たような、見たくないような気持ちだった。だって悪者のパパは正義の味方にやっつけられてしまうんだ。あかコーナーは、チャンピオンのドラゴンジョージ。あかコーナーは、ゴキブリマスク。覆面をかぶっている悪者がぼくのパパ。ぼくのとかなりには友達のマナちゃんがいる。ドラゴンジョージの応援にきたらしい。試合が始まった。二人は戦い始めた。ゴキブリマスクを応援したいけど、となりのマナちゃんが気になる。この試合、そしてぼくとマナちゃんはどうなるのかな？

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



人生のピース
(朝比奈あすか／双葉社)

中高を女子高とともに過ごした潤子、みさ緒、礼香。ただいま34歳。彼氏いない歴11年。年齢だった礼香が、お見合い結婚をすることになった。潤子にはわかに焦り、結婚相談所に入会、みさ緒もダメ男と手を切ってマンションを買おうとする。ありがちな選択をした彼女たちが紡ぐ、ありがちではない自分だけの婚活ストーリー。



フェイクニュースを科学する
(笹原和俊／科学同人)

フェイクニュースはなぜ生まれ、どのようにして拡散し、われわれ人類の脅威となるのでしょうか。その仕組みを理解することは、情報と虚偽情報が混在する複雑化社会を生きていくうえで重要です。本書では、フェイクニュース現象を、「情報生態系」の問題として捉え、その仕組みについて紐解いていきます。



※() 内作者名

／今月は9冊！／

それでも空は青い(荻原浩)／童の神(今村翔吾)／宝島(真藤順丈)／ベルリンは晴れているか(深野緑分)／地球46億年気候大変動(横山祐典)／信長の原理(垣根涼介)／平成くん、さようなら(古市憲寿)／給食アンサンブル(如月かずさ)／府中三億円事件を計画・実行したのは私です。(白田)

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介！

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



Vol.12



①片桐さん宅の杉板の天井 ②手作りのくじら餅。保存食文化が根強い

今月は杉沢地区の片桐区長を取材！最近では山形大学の落花生の試験栽培を行っているたり、芸工大生が片桐さんを訪れるなど研究のサポートをされています。同じく地域に入る私たちとしては「学生と話すのは貴重な経験」とのお話は安心感を与えてくれました。

「山とは切り離せない」地区なのです。この取材を通して感じたことは、他者が杉沢に溢れる自然の魅力を活用できる地区だということです。小さな地区でも大きな期待が集まっています。

杉沢地区「先見の明」

かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子
生き抜いて喜寿たまはるや寒の水
群れなして白鳥帰る最上川

阿部 サタエ
幸せは妻が舵とる宝船
転校児ふり返り行く鳥曇
鳩時計追儼の豆に飛び出しぬ
春立つと言ふ嬉しさに紅を引く

岸 あき子
明け方の春を告げたる路の臺
冬銀河はやぶさ二号着陸す
月を乗せ池に蓋する薄氷
絵手紙に春の香乗せるふきのたふ

星川 きえ子
節分の居すわる鬼と豆を食い
夫偲び女揃いし冬花火

金山杉俳句会報 第四二六回



荒屋 関 喜美子
見事なり手塩に応ふ君子蘭
春日差し猫のび伸びと座をよめる
菅越 庄司 けみ子
窓越しや声かけてみる君子蘭
齒は白く顔は黒ぐる春スキ

七日町 青柳 キエ子
梅東風や観音様に逢ひたくて
梅が香やロビー賑はす異国人

七日町 柴田 栖静
梅が香の誘ひに今朝の遠出かな
春待つや街の灯りは宝倉

羽場 坂本 徳太郎
ゆつくりと雅びを名残る牡丹雪
ハンドルや余所目ゆるさぬ雨水道

上台 阿部 一步
遠き日の想ひは巡る臘月
展示場春の農機具見て廻る

七日町 村松 奈風
ワープロの故障せつなし隙間風
推敲の一日に暮れる鳴雪忌



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第13回 三枝地区



【上段】定期的に地区内の道路や公園の清掃・整備を実施。住民が協力し合い、美化活動に努めている 【下段】桜が咲き乱れる春の三枝公園。公園では育成会の行事のほか住民総出のグラウンドゴルフ大会などが行われる

町中心部から西へ約4km、真室川町平岡と隣接する三枝地区。大又・凝山・持越の3集落で構成されており、それぞれ45、13、12世帯、合わせて70世帯、256名がこの地で生活しています。「3つの支村であったという説のほか、いくつかの説がある」と天口健一（けんいち）区長は前置きし、地区名の由来は不明と話します。約50年前まで、地区の中心には三枝分校がありました。今その跡地には地区公民館、そして三枝公園があり、地域づくりには欠かせない存在となっています。

4月に地区内の道路や公園の清掃作業を行っているほか、6月には子どもからお年寄りまで住民総出の隣組対抗グラウンドゴルフ大会を催し、地区全体として親睦を深めています。また、各集落にはそれぞれの歴史があり、今でもそれらを引き継いでいます。凝山の「観音菩薩祭り」、持越の「子安観音まつり」は代表的なもの。大又では、神社例祭や馬頭観音祭り、若者による八幡様獅子神楽などを守り継いでいます。「子ども達も年々減少し、高校生以下は20人となっています」と区長は少し寂し気に語る一方で、「12月には大又で山の神の勧進を行っているが、今では5名体制となった。大人たちも協力し行事を守っているよう頑張っていかなければならない」と決意を述べます。

昨年には、道路清掃や草刈り、花壇の整備など長年の地区活動が認められ、「県土づくり感謝状」を受賞しました。また、平成29年度で三枝公民館大会は60回の節目。「これらを契機とし、さらに住民が力を合わせて地区を活性化できるように頑張っていく」と天口区長は意気込んでいました。

編集 幸記

▼金山中学校の卒業式を取材中、卒業生が真新しい制服に身を包んでいた入学式のことを、ふと思い出しました。その時、私も広報担当として1年生。勝手に親近感を感じていただけに、皆さんの卒業は感慨深いです。

▼広報かねやまに携わり3年。私は卒業できるかは分かりませんが、3年は『転機』のサイフルとも言われているそう。どんな業務をしていますが、真新しい気持ちで「金山の今」をお届けしていきたいと思っています。（こま）

金山町の人口は、5,516人（2月末現在）

男性	2,681人（-2）
女性	2,835人（-6）
世帯数	1,764世帯

2月の異動	
出生	2人
死亡	9人
転入	4人
転出	5人